

令和 7 年度 第 1 回定例会議録

1. 日 時

令和 7 年 5 月 22 日（木）14：00～16：00

2. 場 所

神戸市中央区文化センター1102 会議室（中央区東町 115 番地）

3. 出席者

- (1) 構成団体 11 団体の内 7 団体出席（3 団体から委任状受理）

※規約第 6 条第 2 項の規定により会議成立

- (2) 出席者氏名 別紙名簿のとおり（傍聴者 0 名）

4. 議 事

【協議事項】

(1) 令和 6 年度事業報告

- ・月 1 回の事業部会で TNR を実施する地域を決定し、1,363 匹の不妊手術を行った。
- ・給餌・糞尿等に関する指導助言を協力者がサポートで実施する地域や協議会が直営で実施する地域で行った。
- ・協議会主催、共催の譲渡会を 3 回実施するとともに、各団体の譲渡会の案内を HP で紹介した。
- ・企業、個人からの寄付を募るとともに、動物病院等に募金箱を設置し、多くの市民から募金をいただいた。
- ・過去 8 年間の支援申込・情報提供、不妊手術をマップに落とし込み、見える化した。

(2) 令和 6 年度決算報告

- ・収入 21,940,747 円（市補助金 16,956,602 円、繰越金 1,634,333 円、寄付 3,344,939 円、雑収入 4,873 円）
- ・支出 18,485,695 円（野良猫繁殖制限事業費 17,012,740 円、給餌等指導助言費 131,600 円、猫の譲渡推進事業費 147,220 円、定例会議費 48,605 円、事務費 1,007,530 円、保険料 138,000 円）
- ・繰越金 3,455,052 円

について報告。富永監事より監査報告。事業報告、決算報告ともに承認。

(3) 令和 7 年度事業計画案

- ・6 年度同様、野良猫の繁殖制限事業、給餌・糞尿等に関する指導助言、譲渡の推進等を実施。野良猫の不妊去勢手術は 1,700 匹とする。

(4) 令和 7 年度予算案

- ・収入 22,310,000 円（市補助金 16,310,000 円、繰越金 3,455,052 円、募金・寄付 2,544,948 円）
- ・支出 22,310,000 円（野良猫繁殖制限事業費 20,770,000 円、給餌等指導助言費 220,000

円、猫の譲渡推進事業費 220,000 円、定例会議費 60,000 円、事務費 800,000 円、保険料 140,000 円、予備費 100,000 円)

事業計画案、予算案ともに承認。

【神戸市の条例取り組み状況】

- ・令和 6 年度の猫の引き取り数は、前年の 182 匹から 105 匹に減少し、殺処分数も、前年の 42 匹から 14 匹に減少した。殺処分数について、神戸市は、国の目標値のさらに半減（50 匹以下）を目指している。6 年度も目標を達成しており、引き続き、この水準を維持していきたい。
- ・6 年度のふるさと納税は、「動物 ～人も動物も一緒に暮らせる温かな街へ～」をテーマに募集を行い、延べ 2,349 名から計 74,123,880 円寄附があり、他に 1 企業から動物愛護事業の推進のために 500 万円の寄付があった。7 年度はふるさと納税とは別に、クラウドファンディングを実施予定。

【主な意見等】

- ・不妊手術数が、減少しており、TNR の効果が表れてきたと評価することができる。今後は、従来事業を引き続き継続するとともに、新たな事業についても検討する必要がある。協議会の構成団体は、各界のメンバーで構成されており、高齢化社会における猫との共生による健康保持や公営住宅のペット飼育可の促進、人と猫との共生事業の推進にかかわるサポート事業での雇用の推進など、本会議でも検討したい（Knots）。
- ・動物管理センター、動物共生センターの活用をもっと広げられないか（獣医師会）。共生センターで譲渡会をしたくても、ほとんど日程が埋まっていて利用しにくい（猫ネット）
共生センターは、一般に貸出する施設ではない。また、市の事業だけで土日で 100 日以上埋まっている。譲渡会については、市に譲渡登録している団体に限って利用してもらっている（Knots）。ネコのバスの譲渡会は、1 日に 50 万円の運営費用がかかる。共生センターで開催するには、アクセスや周知に課題がある（ネスレ）。共生センターの認知度向上のためプログラムを見直し、ふれあいや高齢者向けのイベントが人気を得ており、今後もプログラム充実と広報に努める（市）。
- ・高齢者を対象としたイベントをフェリシモと検討している（ネスレ）。アクセスしやすい場所で（フェリシモ）。
- ・学校教育現場での動物とふれあう機会が減っている。10 年、20 年後を目指した、若い世代や住宅問題を対象としたプロジェクトを検討している。他都市で気質の荒い猫の譲渡会が話題となった例もあり、様々な方法が検討できる（ネスレ）。
- ・元栓対策として、多頭飼育問題に取り組む必要がある（猫ネット）。多頭飼育については、福祉部局より崩壊前に情報をもらい、対応することで協議している。また、多頭飼

育崩壊で引き取った猫で、人馴れしない猫は、以前は殺処分になっていたが、昨年度から、獣医師会に委託して、人馴れするまで世話をしてもらい、譲渡につなげる制度を始めた（市）。

- ・有事の際の対応や、研修の講師等により協力できるのではと考えている（どうぶつ弁護団）

令和7年度 第1回定例会議出席者名簿

神戸市人と猫との共生推進協議会

敬称略

所属	職名	氏名
公益社団法人 神戸市獣医師会	会長	中島 克元
	事業担当委員	橋本 裕規
特定非営利活動法人 神戸猫ネット	理事長	杉野 千恵子
	事務局長	下村 美鈴
	理事	坂田 由美子
公益社団法人 Knots	理事長	冨永 佳与子
	理事兼事務局長	鈴木 豊彦
	事務局次長	中尾 千恵子
株式会社 フェリシモ	生活雑貨事業部猫部G／キャラクターG 上席係長	小木 のり子
ネスレ日本 株式会社	ネスレ ピュリナ ペットケア マーケティング統括部	太期 由美子
神戸市自治会連絡協議会	副会長	新渡戸 素
神戸市商店街連合会	専務理事兼事務局長	村上 安弘
特定非営利活動法人 どうぶつ弁護士団	理事長	細川 敦史

欠席

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 神戸支店	委任状受理
一般社団法人神戸市婦人団体協議会	委任状受理
公益社団法人 日本動物福祉協会	委任状受理
株式会社 神戸新聞社	

規約第5条第4項に基づく出席者

神戸市健康局	生活衛生担当部長	木村 知紀
	環境衛生担当課長	谷浦 興
	環境衛生課動物衛生担当係長	梅木 章成
	環境衛生課動物衛生担当係長	谷口 祥介